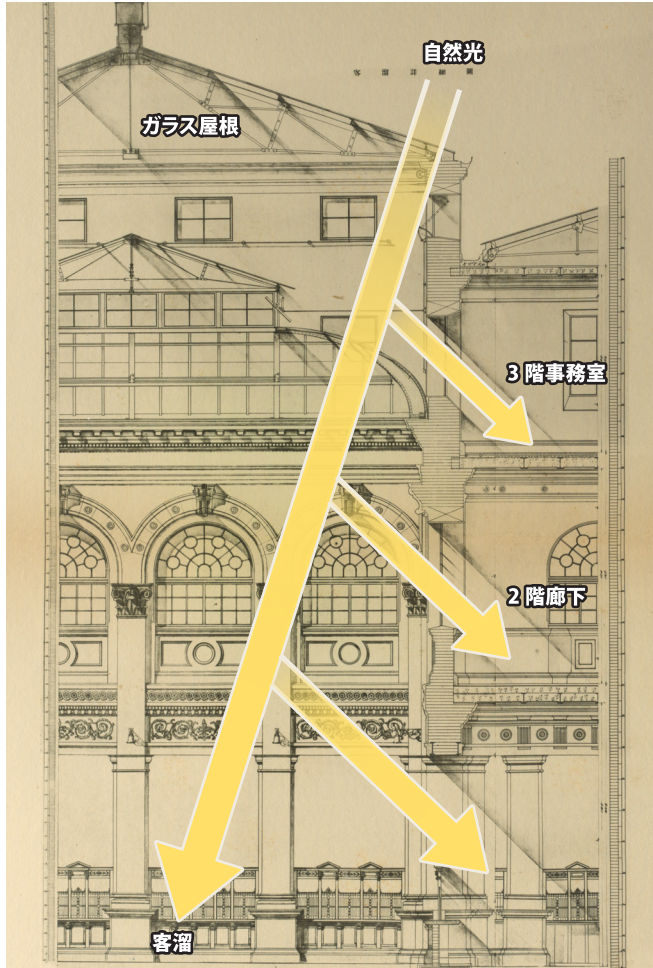


日本銀行本店本館の特徴

日本銀行本店は日本人建築家による最初の国家的建築であった。西洋建築技術を日本に植え付け、定着させることを使命とする辰野金吾は、本館建築に多くの先駆的設備を取り入れた。

採光の工夫

竣工当時の本館は客溜の上部をガラス屋根とし、吹抜けを通して1階客溜のほか2階・3階にも自然光を取り入れていた。



『辰野記念 日本銀行建築譜』より



本館全景



辰野金吾博士
作品集成絵図

後藤慶二画 1916年
辰野家蔵

辰野金吾設計の建物を集めた街並みを描いた油彩画。日本銀行本店が中心に大きく描かれている。

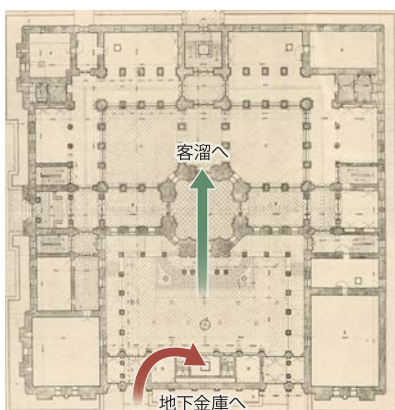


1階の客溜の様子

電気照明と共にガラス屋根からの自然採光により照度を確保している。

地下金庫への現金搬入の工夫

正面玄関から客溜に向かう動線と地下金庫に現金を搬送する動線を同じ中庭の中で、巧みに分離している。



『辰野記念 日本銀行建築譜』より



イギリス製金庫扉



金庫中央部分

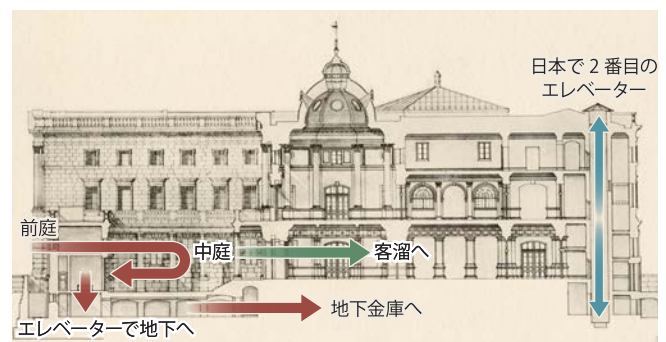


金庫回廊

床：アスファルト、壁・天井：白釉煉瓦

先駆的設備の導入

エレベーター、シャッター、水洗便所、電気照明など当時としては先駆的な設備を取り入れた。西洋建築技術の導入を図る辰野の意向によるものである。



『辰野記念 日本銀行建築譜』より

辰野金吾とその弟子長野宇平治が手がけた日本銀行建築

日本銀行本店本館竣工に続いて西部支店を設計し、さらに 1899 年から 1912 年まで「日本銀行建築工事顧問」として、日本銀行技師の長野宇平治と共に全国の日本銀行支店建築に携わった。

4



長野宇平治
1867-1937 年



広島支店 ★
1936 年 (2 代)



松江支店 ★
1938 年



松山支店
1932 年



岡山支店 ★
1922 年



神戸支店
1927 年

辰野没後の
長野による支店建築

長野宇平治は辰野への畏敬の念を持って、その後も関東大震災後の本館の復旧工事、本館増築工事や各地の支店新築と日本銀行建築を担った。



広島支店 (出張所)
1905 年 (初代)

木造・モルタル塗



函館支店
1911 年



金沢支店 (出張所)
1909 年



小樽支店 ★
1912 年



日本銀行旧小樽支店金融資料館として公開



煉瓦造
モルタル塗



福島支店
1913 年

辰野没後の
長野による本店増築



2,3 号館 ★ (現用)
1932, 35, 38 年

煉瓦造 (辰野式)

赤煉瓦と白い花崗岩を帯状に巡らせたいわゆる「辰野式」の最も早い時期の建物。



京都文化博物館別館
として公開



京都支店 (出張所)
1906 年 (重文) ★



名古屋支店
1906 年



西部 (門司) 支店
1898 年



大阪支店 (★) 部分復元、現用
1903 年
石積煉瓦造



本店南分館
1898 年

日本銀行金庫研究所
貨幣博物館
CURRENCY MUSEUM

〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町 1-3-1
TEL: 03-3277-3037 www.imes.boj.or.jp/cm/

★ = 現存